

IND-6116-2007

リライアソル S-N(N)

一般用ソリューブルタイプ切削・研削油剤

リライアソルS-N(N)は加工性および防錆性が優れたソリューブルタイプの水溶性切削兼研削油剤です。硫黄、リンおよび塩素系極圧剤は含まれていません。PRTR法に非該当な環境への影響に配慮した商品であり、かつ毒物および劇物取締法（毒劇法）の対象候補化学物質を含有せず人体への影響にも配慮した商品です。

リライアソルS-N(N)はJIS A2種1号に相当する水溶性切削兼研削油剤です。

●特長

- 潤滑性が優れ、加工性能の向上が図れます
- 防錆性が優れています
- 洗浄性が優れていることから、べとつきがなく作業環境の改善に寄与します
- 耐腐敗性が優れています
- 環境への影響に配慮した商品です
- 毒劇法対象候補化学物質を含有せず人体への影響に配慮した商品です

●用途

炭素鋼や鋳鉄など鉄鋼材料の旋削、ドリルおよびリーマ加工などの切削加工や研削加工に適しています。

●使用希釈倍率

鉄鋼材料の切削加工：10～30倍

鉄鋼材料の研削加工：30～50倍

●リライアソルS-N(N)の代表性状

外観	(原液) (希釈液)	褐色透明 淡黄色透明
密度	(15℃) g/cm ³	1.07
表面張力*1	(25℃) mN/m	43.3
pH	*1	9.0
耐食性*1	(室温, 48h) 鋼板	変色なし
あわ立ち性*1	(24℃) ml	0
消防法危険物分類		非危険物

*1) 30倍希釈液での測定値 (JIS K 2241に準拠)

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。
(2019年6月)

(防錆性)

・試験方法

シャーレ内に置いたろ紙上直径36mmの円内に鋳鉄切屑1gを均等に分散させ、鋳鉄切屑全体が湿潤するよう注射器を用いて試料希釈液を滴下する。

その後シャーレのふたをせずに室温で24時間放置した後、切屑を取り除き、ろ紙上円内の変色（錆の転写）程度を目視にて観察し、表1の評点にしたがって防錆性を判定する。

表1 防錆性評点

評点	変色程度
0	変色なし
1	半径1mm以内の変色が3ヶ所以内
2	表面の1%未満が変色
3	表面の1%以上5%未満が変色
4	表面の5%以上が変色
5	表面全体が変色

・試験結果

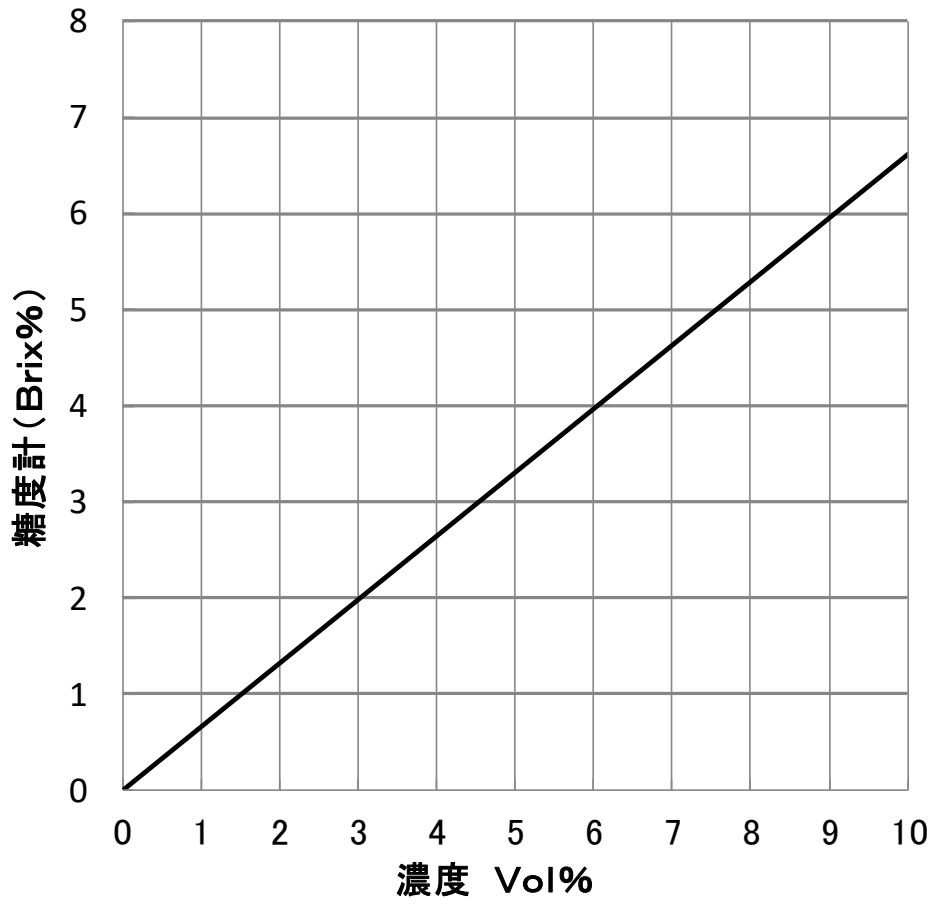
表2 リライアソルS-N(N)の防錆性(評点)

希釈倍率	10倍	30倍	50倍
リライアソルS-N(N)	0	0	0

●荷姿

200lドラム、20lペール缶

リライアソルス-N(N)の濃度換算グラフ





取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	水溶性加工油剤（混合物）
絵表示：	
注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	皮膚刺激 重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 呼吸器への刺激のおそれ又は眠気又はめまいのおそれ
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none">・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。・眼に入れないこと。飲み込まないこと。・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。・使用前に取扱説明書を入手すること。・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレートの吸入を避けること。・取り扱い後はよく手を洗うこと。・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。・眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。・皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
保管	<ul style="list-style-type: none">・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。・施錠して保管すること。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則にしたがって廃棄すること。・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。